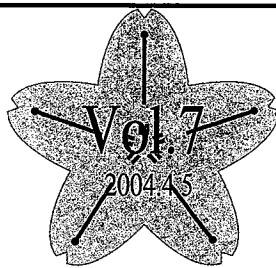


札幌日本大学高等学校同窓会

桜 昂 会



〒061-1103 北広島市虹ヶ丘5丁目7番地1 TEL 011-375-2611
E-mail oukoukai-snuh@sapporonichidai.ed.jp

お知らせ

【返信ハガキ】

皆様の現在の状況を確認させていただきたく、返信用のハガキを同封いたしました。住所等の変更の有無に関わらず、必要事項を記入の上、4月30日までに投函していただきますようお願い申し上げます。なお、切手は必要ありません。

▽本人情報欄

現住所や勤務先などに変更がない場合でも、全て記入していただくようお願い申し上げます。会員の増加に伴い同姓同名の方も増えていきますので、卒業期や組、卒業年を忘れずに明記して下さい。(はつきりしない場合は、3年生の時の担任の先生の名前を余白に記入して下さい。)

▽実家情報欄

転居の際に本人から連絡がいただけず、不明者となってしまう場合が多くなっております。本人に連絡が取れない場合でも、実家に連絡させていただくことが可能であれば、不明者とならずにすむことから、返信用ハガキにも実家情報欄を設けております。主旨をご理解の上、記入していただきますようお願い申し上げます。特に、現在学生の皆様は、卒業後の転居が予想されるため、必ず明記して下さい。

・本人の住所と同じ場合
実家欄に「同上」と記入して下さい。

・本人住所と異なる場合
より確実に郵送させていただくためにも、実家住所欄の最後に〇〇方と記入をお願い致します。高校卒業時と実家の住所や電話番号、〇〇方に該当する保護者名に変更がない場合は、「卒業時と同じ」と記入していただいても構いません。

▽不明者情報欄

同封されている不明者リストは、転居先不明により、会報などの発送が出来ない方々です。リストの中でご存知の方がおられましたら、返信用ハガキの不明者欄に記入していただければと思います。なるべく多くの不明者を把握したく、判明している情報だけでも構いませんので、ご記入をお願い致します。なお、不明者欄だけで書ききれない場合は、宛先面の通信欄をご利用下さい。

▽ご実家の皆様へ

今回発行いたしました会報が、実家に郵送されたにも関わらず、本人が同居していない場合は、本人の連絡先が不明となっております。お手数ですが、本人にご確認の上、郵便物を転送していただくか、返信ハガキに本人の連絡先を記入し、返信していただけますようお願い申し上げます。ただし、本人

ちよつとだけ

『リニューアル』

してみました

皆さん、いかがお過ごしですか？各地から桜の開花宣言が寄せられています。札幌でも雪解けが進み、少しずつ春の訪れを感じることができるようになりました。

この春、新社会人となる人や、転勤などにより新しい地で生活を始める人など、気分を新たにした人も多いことでしょう。私たちの母校、札幌日大高校でも、この会報が届く頃には、新入生を迎え、新学期がスタートしていることと思われまます。

さて、7号目となる同窓会会報にも、今までと少し変わった箇所があることに気が付きましたか？「リニューアル」と言えるほどでもないかもしれませんが、次の点が変わりました。

まず、用紙サイズは今まで通りですが、5段組みから4段組みに変更したこと、1ページあたりに掲載できる情報(文字数)が増えました。次に、これまで内容によって変えていたレイアウトを見直し、基本を4ページから8ページに変更。ページごと

の意向により、同窓会への連絡先を実家とされる場合は、その旨を宛先面の通信欄に記入の上、実家の住所を本人住所としていただいても差し支えありません(その場合は、実家情報欄は「同上」として下さい)。なお、実家を連絡先とする旨を既にご連絡いただいている場合は、封筒の宛名の個人用コードの横に(実)と表記されておりま

【メールによる変更届け】

メールによる住所等の変更届けが可能になりました。返信ハガキに記載されている項目に沿って入力をお願い致します。不明者情報も受け付けておりますが、必ず送信者の名前や連絡先も記入して下さい。なお、メールアドレスは表紙(1ページ目)に記載されておりま

【その他】

同窓会事務局では、同窓会の活動内容をより確かなものにしていくためにも、組織の強化を目指しています。同窓会活動に参加したい方、興味がある方がいましたら、ご一報いただければと思います。また、会報7ページ目の「シリーズ札日人」に原稿を寄せてくれる同窓生も募集しています。原稿は600字程度。連絡先を明記の上、同窓会事務局まで郵送またはメールでお願い致します。

編集後記

昨年は、10月に予定されていた総会に向けて準備に取りかかりながら、結局開催することができませんでした。半年以上遅れながらも会報の発行の目処が立ち、少しほっとしています。

中堅的立場に立たされる年齢に至り、仕事に忙しい役員も多く、役員会のスケジュール合わせにも苦労しています。が、私たちの活動が、少しでも同窓会の発展に貢献できればと思います。

編集委員

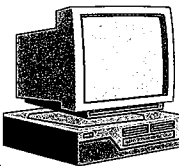
- 鈴木 雅人 (二期生)
- 加藤 一 (二期生)
- 中村 美千代 (二期生)

ホームページ開設に向けて

1999年10月、札幌日大高校のホームページが開設されたのを機に、同窓会でもホームページを作ろうという話が出始めました。正式に検討事項として取り上げてからも、作業が中断してしまうことが幾度かありましたが、昨年から本格的に取り組み始め、少しずつ作業を進めております。まだテスト版の段階ですが、内容を少し紹介してみよう。

同窓会会員は、トップページからパスワードを入力して会員専用ページに入ります。同窓会規約や役員の紹介、これまでの活動内容、過去に発行された会報などを見ることが出来ます。また、総会の出欠確認や住所変更も可能となります。その他、会員同士のコミュニケーションの場として、クラス会の案内や報告などができるページを設けたいと思っています。掲示板については、現在検討中です。

実際の開設まで、もうしばらく時間がかかりますが、早期に実現できるように取り組んでいきたいと思



札幌日本大学中学校開校

平成15年4月6日、札幌日本大学中学校の開校式及び入学式が開催され、中高一貫教育がスタートしてから丸一年。第一期生として入学した40名の生徒(男子22名、女子18名)に続き、この春には、第二期生が入学します。札幌日本大学中学校はどのような学校なのか、札幌日本大学の卒業生でもある小別友紀恵先生に、お話ししていただきました。

平成15年4月、将来への大きな目標を持った生徒40名が集まり、札幌日本中学校が開校しました。少し大きめの制服と教科書をたくさん入れたかばんを持ってはありますが、遠くは千歳

や小樽から、毎朝友達とおしゃべりを楽しみながら笑顔で登校しています。本校では、生徒・保護者・教員が一体となった個性溢れる教育の場を目指しています。

札幌日本大学中学校校歌
木原 健太郎 作詞作曲
一、青空を仰ぐ この丘に集い
志高く 未来を望む
やさしさを胸に いつも大切に
明日へと羽ばたいていくここから
新しい夢の扉を開いて

学習面においては、学習シラバスに基づいて、計画的な中高6カ年教育による先取り学習をすすめていて、教科の中には、2年間で中学3年間分の学習をするものもあります。本校の学習システムの特徴といえるのは、「スパイラル学習」で、学習到達度確認と生徒の理解度を高めるための単元別「習得度テスト」と「個別学習」を実施しています。



教師と楽しそうにおしゃべりする生徒、生き生きとした姿が目につきます。朝の学活の前には、「朝読書」を生徒・教員全員で行っています。「みんなで読む」「毎日読む」「好きな本を読む」「ただ読む」をモットーに、心の潤いや豊かさを日々をばぐんで欲しいと思いはじめました。現在では、チャイムが鳴ると同時に、生徒自らおしゃべりすることもなく読書の時間を楽しんでいます。読書の効果だけではなく、学級・学校の落ち着いた雰囲気作りにも大いに貢献しているようです。

前期には、全員が一生懸命取り組んだ学校祭やスポーツフェスティバル、後期には、2泊3日の社会見学旅行もありました。もちろん、学習にも集中しなければなりません。多忙な毎日ですが、生徒と教員どちらも、向学心や探求心を大切に、想像力や感性豊かな楽しい生活を作り上げていきたいと考えています。

中学校の主な施設

1. レセプションホール(5F)
多目的ホールとして使用。校舎の最上階にあり、大きな窓からの見晴しがとても良い。
2. 視聴覚教室(4F)
CDやビデオなどの視聴覚機器のほか、コンピューター30台を設置。インターネットを取り入れた学習などが可能。
3. 理科室(3F)
実験や観察器具を取り揃えた2つの教室を用意。理科教育を通じて、探求心や問題解決能力などの「生きる力」を養うことを目指す。
4. 体育設備(1F・2F)
1階に柔道場と剣道場、2階にアリーナがある。
5. 交流ホール(1F)
休み時間や放課後など、生徒の憩いの場として活用。

シリーズ
札幌人
第六回

教員と同窓生各一人ずつを取り上げて、札幌日本大学に対する思いや現状などを寄せてもらいました。今回から、退職した教員の名前も掲載しています。

同窓生



北崎義貴 (2期生)

プロフィール
●札幌大学経営学部卒業
●名鉄観光サービス(株)勤務
●営業活動に励む毎日。
●札幌日本大学の部活遠征に関わることも。

同窓生の皆さま、いかがお過ごしですか？ 私は札幌日本大学を卒業後、更なる自分磨きのため(？)、5年間の学生生活を送り、現在は、勤務先の名鉄観光サービス株式会社にて成果を発揮すべく、日々営業活動に明け暮れております・・・というより、反省、

発見、学習の毎日です。

仕事の内容は、営業や旅行計画の立案、添乗と、一見すると華やかにも見られがちです。しかし、実際は全く逆で、就職活動の際にも大学の就職課の方から3K(きつい、汚い、危険)の業界と言われた通り、その中で働く自分には華やかさは感じられません。ただ、各種営業活動をされている皆様は既にお分かりでしょうが、見積りを提出し受注した際は、この上ない喜びを得られます。私達の仕事は、1回の旅行でも、交通手段や宿泊先、観光・見学先は多種多様にわたり、コースは無限にあります。その中で自分の勤めるコースがお客様にも受け入れられ、受注、実施となれば、これ程の喜びとやりがいはありません。更に、その旅行に添乗するとなれば、参加者にとって、より実のある、より楽しい旅行になつて欲しいという気持ちがあり、現地で見る参加者の笑顔は、この仕事をしていて本当に良かったと思う瞬間です。ここ数年、母校である札幌日本大学の全国大会や全道大会出場のお手伝をさせて頂いておられます。後輩の皆さんが頑張っている姿を近くで見させてもらっていると、OBとして母校の名を広めていけるよう頑張りたいと思います。札幌日本大学、和が母校バンザイ！

教員



小林輝雄

プロフィール
●新2年2組担任(専任講師)
●理科担当
●非常勤講師として5年間勤務し、平成15年度から専任講師となる。

同窓生の皆様こんにちは、または初めまして。専任講師の小林輝雄と申します。平成10年度から非常勤講師として本校にお世話になり、15年度から専任講師となり、担任クラスを持つ生活になりました。

つい最近卒業した方も、もう何年も前に卒業した方も、本校を思い、学校や町並みはどう変わったのだろうか？等々思いをはせることと思われまふ。そこで、講師時代から約五年間の日本大学の生徒や周囲の変化をお知らせしたいと思います。

【高校横に大きな道路が開通した】
本校を厚別方面から向かうと以前は札夕線が迂回しなくてはならない状況でしたが、今では高校横に道路が開通し交通しやすく安全な移動が出来るようになりました。
【男女の制服が変更された】

本校制服が、男子は学生服、女子はセーラー服から、男女ともにブレザーとなりました。新制服をかわいいと言う声もありながら昔ながらの学生服・セーラー服を惜しむ声も未だにちらほら出ています。

【周りが住宅地となった】
以前より本校周辺の町並みは変化していましたが現在ではその変化も大きくなっています。開校当時は森林だった周囲も宅地化が進み、現在では森林も北広島側に一部を残すばかりです。温泉施設や大型スーパーなどが建ち、これからは発展していくでしょう。

しかしながら、開校から十七年変わらないものもあります。それは生徒の「活気」教員の「熱意」です。同窓生の皆様、お忙しいこととは思われますが、お近くにお寄りの際には気軽に本校に遊びに来て、変化した「周囲」と変わらぬ生「活気」をぜひご覧下さい。

退職された先生方 平成15年

- 中村 祥一(副校長)
- 新島 郁子(専任講師/国語)
- 山本 憲一(専任講師/国語)
- 黒川 正幸(専任講師/理科)
- 福田 修平(非常勤講師)
- 伊東 信(非常勤講師/公民)
- イアン・ブービヤ(非常勤講師/英語)
- 内山 貴雅(非常勤講師/芸術)

第6回 桜昂会 定期総会 報告

平成14年10月20日
札幌日大高校小会議室

昨年9月に予定通り会報が発行できなかったことで、未報告となっている第6回定期総会(平成14年10月20日開催)の内容について、報告させていただきます。

第1号議案

平成14年度事業報告

以下の6項目について報告しました。

- ・ 野球部甲子園出場支援活動
- ・ 全同窓会会員へ寄付金(1口5千円)を依頼するため、同窓会会報第5号を制作・発行。また、同窓会から100万円の寄付を提案し、承認を得るために臨時総会(平成14年3月10日)を開催。活動の結果、334万5千円(同窓会からの寄付100万円を含む)を、野球部後援会へ寄付しました。
- ・ 卒業生への記念品贈呈

平成14年3月1日に第13期生320名へ50度数の卒業記念テレホンカードを贈呈。

・ 卒業生への特別奨学金の贈呈
学校長の推薦により、成績優秀者又は部活動等で顕著な実績のあった1名ないし一団体に贈られるが、今年度の該当者はなし。

・ 全同窓会会員への同窓会会報発行
桜昂会会報第6号を制作。平成14年10月1日発送。

・ 第6回定期総会のための
議案書作成・審議

役員会を数回開き、5つの議案について審議を重ね、総会用の議案書を作成。

・ その他

- (a)同窓会会員一覧の作成準備
10周年の際に作成した同総会名簿の情報が古くなったことから、事務局内の資料として使用する同総会会員一覧の作成を決定。その準備として、より多くの会員の現況を把握するために、総会出席確認用返信ハガキの回収率を上げる必要があることから、返信ハガキを切手が不要な受取人払いに変更。また、転居先不明者の増加により、会員名簿データに「実家」項目を追加。
- (b)ホームページの開設準備
同窓会ホームページの開設に向け

て内容を検討し、テスト版を作成。

第2号議案

平成14年度 決算報告

別表の通り報告し、承認されました。今年度から、事務通信費に郵送料と名簿管理料の内訳を設けて決算

報告書を作成したこと、年間20万円ずつ拠出していた同窓会館設立基金と周年積立金を、卒業生の人数が減少したことを考慮し、卒業生1人あたり500円に変更したこと、2点を補足として報告。

第3号議案

役員改選

第6回総会において任期満了となる役員に代わり、新役員となる候補者に対して承認を得ました。

会長	中里 仁
副会長	加藤 一
幹事長	鈴木 雅人
副幹事長	中村 美千代
会計	富樫 光典
会計	西田 康人
会計	辻山 弥生
会計	渋谷 俊之
会計監査	小沢 忠謙

任期は平成14年10月21日から平成16年総会開催日まで。

第4号議案

平成15年度予定事業審議

以下の6項目について報告、承認されました。

- ・ 卒業記念事業
平成15年3月、卒業生全員(第14期生)に卒業記念品を贈る。なお、使用頻度が減少したことから、「記念テレホンカード・50度数」に変わる記念品を検討。
- ・ 特別奨学金給付
平成15年3月、該当者に特別奨学金を贈呈(該当者については第1号議案の「卒業生への特別奨学金の贈呈」項目を参照)。
- ・ 同窓会会報発行
平成15年9月、同窓会会報「桜昂会Vol.7」を作成し、全同窓会会員に

発送。内容としては、近況報告・定期総会案内・シリーズ札日人などを予定。

第7回定期総会

平成15年10月5日開催予定。平成15年度の事業報告及び決算報告、平成16年度の予定事業及び予算案審議などを行う。

・ 今後の活動内容の検討

前年度からの活動を引き継ぎ、同窓会会員一覧(簡易名簿)を作成。また、同窓会ホームページの早期開設を目指し、検討を重ねて準備を進めていく。

本総会において審議の結果、以下のことを決定。同窓会会員一覧は、事務局の管理用のため、一般販売は行わない。ホームページの開設については、サーバーは学校とは別に同窓会で独立して用意し、ホームページの作成・管理は役員が担当。会員専用ページはアクセス制限をかけ、個人情報漏洩防止のためにもサーバーには置かず、別に保管する。

・ その他

同窓会館設立基金・周年積立を継続的に行う。

第5号議案

平成15年度の予算案審議

収入の部・支出の部、共に承認。

第6号議案

同窓会費値上げについて

現在の終身会費(5千円)は、1期生の卒業当時に設定されたもので、当時より郵送料が値上がりしていることや、本年度のような寄付金などの支援を行っていくことを想定した場合、今後の活動に支障をきたす可能性があるため、終身会費を1万円に値上げすることを提案。現在の活動内容について項目別に試算した結果を元に、学校長へ打診することを決定しました。

・ その他

今後の活動を円滑にするために、幹事会の体制について審議することを会長が提案。同窓会入会式または卒業式の後に幹事会を開くことや、幹事会の招集方法などについてさまざまな意見が取り交わされたが、決定するには至らず、今後、検討を重ねて早期に実現していくことで合意。

平成15年度の活動報告については、スペースの都合により、次回の会報Vol.8(9月頃発行予定)で報告させていただきます。



同窓会会報に『広告』を掲載してみませんか?
同総会事務局では、年に1度の割合(臨時発行もあり)で発行している同窓会会報に、広告を掲載していただける同窓生を募集しています。
広告は、勤務先に限らず、趣味や習い事などの団体、グループでも構いませんが、内容によってはお断りさせていただきます。また、同窓生の名前(掲載者)を必ず入れさせていただきます。
掲載サイズは、縦48センチ×横7センチの1パターンのみです。
決められた形式で掲載する場合は、下記右側のサンプルと同じく、(A)に社名や団体名など、(B)に住所、電話番号、ファックス番号、ホームページアドレス、Eメールアドレスなどを掲載。(C)は、キャッチコピーなど自由にコメントすることができます。
ロゴを使用するなど、下記左側の広告のように自由形式で掲載する場合は、版下入稿またはデータでの入稿を前提としていますが、要望があれば、作成することも可能です。
掲載料金は、原稿の入稿方法や掲載回数などにより異なりますので、希望者は、同窓会事務局までメール(下記参照)でご連絡下さい。追ってご連絡いたします。

各種広告看板・サイン
各種展示会企画施工・ネオン看板

Art & Design 日本クリエート株式会社

〒003-0813 札幌市白石区菊水1丁目3条2丁目52番地
TEL (011) 822-2222 FAX (011) 832-1852 e-mail: cre@crest.ocn.ne.jp

二級建築士事務所登録(石)第3621号 建築業許可登録

屋外広告物登録	建築士事務所	(株)石第4645号	建築士事務所	(株)石第4645号
北海道屋外広告物条例	土木工事	(株)石第4645号	機械運搬工事	(株)石第4645号
札幌市屋外広告物条例	大工工事	(株)石第4645号	ビル大工工事	(株)石第4645号
368号	内装土工	(株)石第4645号	機械工事	(株)石第4645号

掲載者/西田康人(1期生) 掲載者/同窓会事務局

掲載者/西田康人(1期生) 掲載者/同窓会事務局

掲載者/西田康人(1期生) 掲載者/同窓会事務局